



●HPの掲載 「助け合い階段とは」

~~~~~  
【2017年9月25日 12:00】

Hello! こんにちは。キャプテンBSです。

最初から「ばーん！！」という階段の紹介です。

山道に入る入口から380段の階段があります。HPの画像の左の方に階段の画像があります。これです。普通の石の階段です。一般者の歩行時間は20分と案内資料に記載されています。これは、1分で19段分となり、1段を3秒ぐらいで上がるペースになります。最初に山を登ってしまい、後は楽に歩くコースです。

休憩なしで上がれば時間通りになりますが、1分～2分の休憩を3回ぐらい入れるとかなりのペースで上がることになります。1年生のスカウトから中年指導者が混じった混成グループですから、それぞれのペースが異なりますね。

そして、この階段には、指令書で課題が与えられています。

「標識には380段の階段と書かれてあるが、本当に正しいのか調べよ」

この趣旨は、レスキュー隊は正しい情報に基づいて活動することが重要なので自分たちで調査する必要があるということです。

さて、この階段を各班はどのような方法で上がるでしょうね。それを考えると楽しいですね。

皆で楽しい気持ちで上がるか、「しんどい、しんどい」と言いながら上がるのでしょうか。楽しく上がる方が疲れが少なく、上りきった後の歩きが楽になります。しかも、階段の数を正確に調べないといけません。数えて上がる方が、190段を過ぎれば残りが少なくなるから気持ちが楽しくなりますよ。数えないと後どれだけかを気にしながら上がるので疲れます。また、350段ぐらいまでずっとしんどいでしょう。終わりが見えてからやっと気持ちが楽になります。

ここは、ゲーム感覚で楽しく上がることがよさそうですよ。ペースを守って、ゆっくり確実に上がってはどうか。知恵を出し合って楽しく上がりましょう。

それに、ここは「助け合い階段」だから、弱いものを助けて上がれば、早く上がることができます。3人ぐらいのチームで歩くか、全員で助け合うか、これも考えてみましょう。

この階段では、次の目標を達成してもらいます。3年生から5年生年代のカブ隊では、カブスカウトのさだめがあります。そのひとつの「カブスカウトはたがいにたすけあいます」、もう一つ「カブスカウトは おさないものをいたわります」という目標を実施してくださいね。

では、9月27日にお会いしましょう。テーマは、「秘密のサインで行き先がわかる」です。See you again.